

レンガと他の外壁材の違い

RBシステム

サイディング、モルタルのイニシャルコストの安さに気を取られて、
10年毎にかかるメンテナンス費用を忘れていませんか？

サイディングは、実に新築の7割を占めるほどの人気ですが、
防水シールが劣化したり、素材そのものが破損しやすい材質です。
約10年毎に塗り替え等のメンテナンスも必要になってきます。
モルタルは多彩なデザインを形造ることができる人気の素材ですが、
こちらは汚れが数年で目立ち、サイディングよりも早いサイクルで
塗り替え等のメンテナンスが必要となります。



例：築10年、同じ北面にあたる外壁部。サイディングは3年前に塗装。
レンガはメンテナンス無し。

レンガの家≠高額。

30坪、約160平米の家なら、月々約6,000円のコストで外壁をレンガにアップグレードできます。*1
40年単位で考えると約460万円、メンテナンス費用が抑えられます。

サイディング、モルタルの外壁材は

おおよそ10年ごとに塗り替え等のメンテナンス費用がかかってきます。
グラフが示すように、約築20年目以降からレンガの外壁の方がおトクになります。
初期費用こそ高いものの、数十年単位で考えれば、
サイディングやモルタルよりもレンガの方がコストパフォーマンスに優れています。

40年単位でのメンテナンス費用内訳例

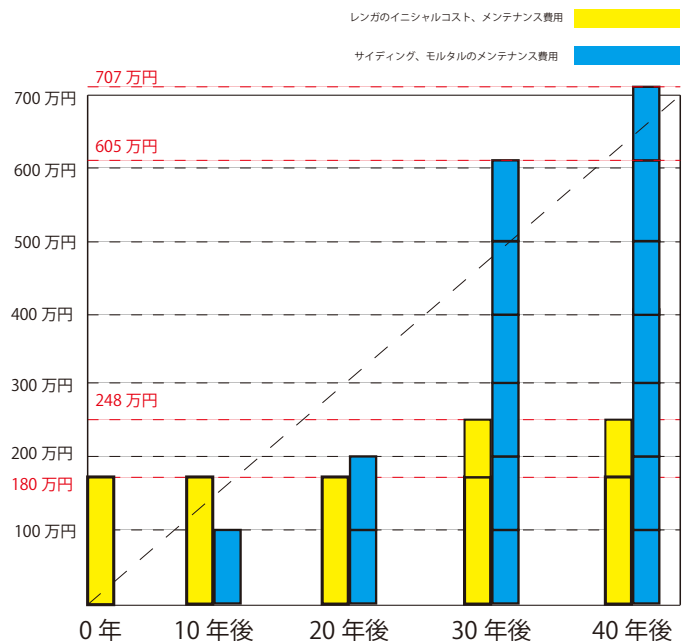
サイディング

- ・10、20、40年目にコーキング補修、外壁再塗装で毎回102万円
 - ・30年目にサイディング張替え、全コーキング打ち替えで401万円
- 合計 707万円

レンガ

- ・外壁材をサイディングやモルタルから変更した際の初期費用180万円
 - ・30年目に全コーキング打ち替え68万円
- 合計 248万円

差額：459万円



レンガとサイディング or モルタルのメンテナンス費用比較グラフ

*1 外壁材をサイディングやモルタルからレンガに変更した際に、費用が180万円プラスになった場合。30年ローン、金利1%で計算。

乾式レンガ = 自然災害に強く、劣化が少ない外壁材

乾式レンガ	サイディング、モルタル
<ul style="list-style-type: none">・耐衝撃に強いので、写真のような破損はほぼない・表面のレンガが破損したとしても、高対抗鋼板の下地を使った二重構造により、躯体のダメージを回避できる・部分補修可能で、補修費用がかからない・汚れた箇所は自分でゴシゴシ洗っても大丈夫<ul style="list-style-type: none">・高圧洗浄 OK・塗り替え不要・年数を重ねるごとに風合いが増していく	<ul style="list-style-type: none">・台風の飛来物での破損が多い・破損した箇所から雨漏りなど、躯体へのダメージが発生する・大掛かりな補修が必要となる・塗装を痛めるのでゴシゴシ洗えない<ul style="list-style-type: none">・高圧洗浄 NG・塗り替え時に一色になってしまう・塗り替え後は更に短い周期で再塗装が必要になり、補修費用が更にかかる



例：台風による飛来物でのサイディング破損